



**MSC**  
企業行動規範 **m**  
**sc**

“

従業員が安全で健全な仕事環境のもとで、長期的なキャリアの展望を持てるように努めています。

”



MSCは世界中のお客様に優れたサービスを提供することで一流の国際海運会社になりました。私たちは、法を守り責任を持って誠実にビジネスを遂行することで信頼を得ています。

MSC企業行動規範は、MSCがビジネスを行なう際の原則を確認するものです。この規範は、MSCの世界中の事業部の従業員はもとより、全世界の代理店にも適用されます。この規範は、MSCが事業を展開するすべての地域におけるグローバルオペレーションに共通する基準を定めています。

この規範を、日々の業務に適用することで、MSCはその事業の中心にある倫理的原則と中核的な価値観を守り続けることができます。

皆様のご協力に感謝します

**Diego Aponte**  
グループプレジデント & CEO

# MSC企業行動規範

目次

<b>4</b>	用語集	14	児童労働と 若い労働者の保護
<b>6</b>	はじめに	14	コミュニティと ステークホルダーとのかかわり
6	MSCの中核的価値観	14	人権の支援
7	規範の目的	15	職業上の健康と安全
8	規範の範囲	<b>16</b>	贈賄防止
8	規範の解釈	<b>17</b>	利益相反
9	不正行為の報告	<b>18</b>	制裁規定
<b>10</b>	行動規範	<b>18</b>	マネーロンダリング
<b>11</b>	環境	<b>19</b>	独占禁止法
<b>12</b>	人権 と 労働基準	<b>20</b>	ビジネスならびに財務記録
13	相互の尊敬と平等な待遇	<b>20</b>	契約
13	多様性	<b>21</b>	機密情報、 データ保護とプライバシー、 電子機器
13	ハラスメントと その他の虐待的行為	21	機密情報
13	結社の自由	21	データ保護とプライバシー
14	強制労働と現代の奴隷制	21	電子機器
		<b>22</b>	ソーシャルメディアとスピーチ
		22	ソーシャルメディアのビジネス利用
		22	スピーチとメディアとのかかわり





## 用語集

該当する場合には、単数形の語は複数形を含み、逆も同様とします。文脈上に別の解釈がない限り、男性への言及は女性への言及を含むものとします。

### A

#### 贈賄

民間企業の人物に、その人物の義務に反するか自己裁量と依存する職務上または商業上の行為に関連して、ある行動を行なわせる、または行なわせないために、不当な利益を直接的または間接的に、申し出、約束、または与える行為です。

#### 代理店

(i) MSCのために、またはMSCに代わり業務を行う世界各地の代理店、これに該当する場合は、MSCのために、またはMSCに代わり業務を行う下位の代理店も含みます。(ii) MSCプランニングセンター (iii) MSCの支店 (iv) MSC関連会社、および (v) MSC が船舶管理契約を締結している企業である、イタリア、ソレントのMediterranean Shipping Company S.R.L.、およびキプロスのリマソルにあるMSC Shipmanagement limited (関連会社を含む)。

#### 規範

MSCのウェブサイトで公開されているMSC企業行動規範の最新版です。

### C

#### 規範実施者

代理店におけるMSC企業行動規範の実施を監督する責任者です。

## C

## 機密情報

MSCまたは代理店が所有するビジネスに関連するすべての非公開の情報です。これには契約、価格情報、マーケティング計画、取引額、顧客の身元、船の運航と技術仕様、業務上の秘密、および他者にとって商業的価値のあるその他の情報が含まれます。これらの情報には口頭および/または電子的な方法で伝達されたものを含み、「機密」指定されているか、またはそのように特定されているかは問いません。

## 利益相反

MSCのため、および/またはMSCに代わって業務を行う従業員がMSCの利益を阻害する可能性のある私的な利益をもち、その意思決定が私的な利益による影響を受けたり、MSCに代わって行う義務の遂行を変えるリスクが生じる状況です。

## 汚職

公務員に対して、その職務上の義務に反する、または自己裁量による公務に関連する行為を行わせる又は行わせないようにするために、不当な利益を直接的または間接的に申し出、約束し、与えることです。

## C-TPAT

米国国土安全保障省の米国税関・国境警備局が導入した「テロ行為防止のための税関産業界提携プログラム (Customs-Trade Partnership Against Terrorism)」です。

## E

## 電子機器

業務環境で、主に情報（機密情報や個人データを含む場合があります）の通信伝達、処理、転送を行うための電子装置です。該当する機器には、ノートパソコン、デスクトップパソコン、サーバ、スマートフォン、タブレット、携帯機器のSIMカード、据置型や取り外し可能なストレージ機器、そしてこれらの機器にインストール、または保存されたすべてのソフトウェアを含みますが、これらに限定するものではありません。

## 従業員

MSCと代理店の従業員、代表、役員、取締役です。

## F

## 円滑化のための支払い

公務員による所定の手続きの実施を早めたり円滑化する目的で行われるあらゆる支払い、または利益の供与です。

## G

## 贈答

MSC のビジネスに関連する価値のあるものを意味し、「コーポレートホスピタリティ」は、MSCまたはMSC代理店が主催、または従業員がビジネス関連の目的で出席するイベントです。一般的な例としては、合理的な価格の食事、スポーツイベント、観劇、ビジネスに関連した目的で行われる教育的イベントなどがあります。

## 公務員

次の人物を意味します。(i) いずれかの国の政府、州または地方自治体の機関または団体の職員として働き、雇用され、その機関または団体の代理人として行動する者。(ii) 公的国際機関（世界銀行や国際連合など）の職員として働き、雇用され、またはその代理人として行動する者。(iii) 国有または国が管理する営利企業で働く者。(iv) 政党で働く者。(v) 公職に立候補している者。

## M

## 不正行為

規範違反を含む、従業員による違法または不適切な行動です。

## MSC

MSC Mediterranean Shipping Company SA、所在地12-14 Chemin Rieu, 1208 Geneva, Switzerlandです。

## MSCソーシャルメディア

ソーシャルメディアですが、従業員がMSCに関する発言またはMSCに言及するなど直接的に、またはMSCロゴを背景にするなど、MSCを特定できる写真をアップロードするなど間接的に、MSCの従業員としての身分を公開することもこれに含まれます。

## P

## 収賄

従業員が、職務上または商業上の活動に関連して、その義務に反して、または自己裁量による行為を行う、または行わないために、直接的または間接的に、その人自身の利益または第三者への利益として不当な利益を求める、または受け取る行為です。

## 個人データ

自然人を特定するか特定可能な情報やデータです。個人データは、表現されている方法や情報の形式（記録媒体、紙、テープ、フィルム、電子メディアなど）に関わらず、特定の個人に関連するさまざまな情報です。本ポリシーの目的上、現地のデータ保護法が別段の規定がない限り、法人は対象外とします。個人データとは、特定可能な個人に関連するあらゆる情報です。個人を「特定可能」と見なす方法には、さまざまなものがあります。フルネームは直接的に個人を識別します。その他の情報の組み合わせによっても、十分に個人を識別できる可能性があります。主な個人データには次のようなものがありますが、これらに限定されません。名前、生年月日、住所、個人的または職務上の目的で使用されているかに関わらず、個人および職務上の電子メールアドレスと電話番号、運送契約の当事者の名前または連絡先の詳細などの輸送の説明、顧客のコンテナの地理的位置、従業員の職務内容、役職、バッジ番号、顧客の連絡先情報または財務情報、信用調査に必要なその他の情報、IPアドレスまたは機器のシリアル番号。

## S

## ソーシャルメディア

他のユーザーとのコミュニケーションや、同じ趣味や興味を持つ人を見つけるためにウェブサイトおよびアプリケーションをプライベートまたは個人的に利用するものです。Facebook や LinkedIn などが該当しますが、これに限定されません。

## はじめに

### MSCの中核的価値観

MSCの中核的価値観は、当社の基礎です。MSCのビジョンを支え、MSCの文化を形作り、MSCの将来の方向性を確立します。これらの中核的価値観は、すべての従業員が関わる行動の指針となるべきものです。



MSCは  
ファミリー  
企業です

創設ファミリーの信念は、献身と信頼を導き、一体感を高めてくれます。ファミリーの起業家精神を分かち合うことにより、お客さまと当社の最善の利益のために、勇気と責任を持って積極的に行動することができます。



MSCの  
情熱

仕事に対する情熱を持ち、卓越性を達成するために挑戦し、困難を乗り越えるために粘り強く取り組みます。私たちは情熱と熱意を持って助け合い、お客さまにユニークな体験を提供いたします。



MSCは、  
進化を  
続けます

当社の伝統、専門知識、プロ意識、熱意が、迅速かつ持続可能な成長を促進します。私たちは、常に安全と環境を尊重し、変化を受け入れる最も革新的なソリューションを追求します。



すべては  
人の  
ために

私たちは、すべての人の価値を信じています。私たちは、倫理、敬意、チーム スピリットに基づいた、真の人間関係を築いていきます。私たちは、お客様と従業員の満足と忠誠心を心から大切にします。



MSCの  
公平な  
機会

当社の使命は、従業員それぞれに満足感と豊かさを提供することです。従業員がプロとして成長するために必要な知識を共有し、トレーニングとサポートを提供します。多様性とすべての文化を尊重しながら、長期的なキャリア開発の機会を公平に提供します。

## 規範の目的

MSCは、世界をリードする海運会社として、お客様に比類ないサービスを提供し、公平で倫理的なビジネスで、日々高い評価と信頼を得ています。当社の信頼と誠実さに対する評価は、従業員ひとりひとりの日々の行動にかかっています。

本規範は、MSCが本規範の原則およびその他のポリシーを実施するために採用するその他のポリシーおよび手続きを補完するものであり、これらと合わせて読む必要があります。

MSCはまた、本規範を随時修正する権利を留保します。従業員は、常に最新情報を把握する必要があります。本規範の最新版はMSCのウェブサイトを確認できます。

本規範とその実施に関する質問は、[ethic@msc.com](mailto:ethic@msc.com)に問い合わせてください。



## 規範の範囲

本規範は、従業員と代理店が倫理的にビジネスを行うためのガイドラインです。本規範の実施は、MSCにとって最優先事項であり、MSCは代理店と従業員が本規範を遵守することを期待しています。MSCは、MSCジュネーブ コーポレート監査部門、およびその他の部門または必要に応じて外部の監査役の助けを借りて、従業員と代理店が規範に定められた基準を遵守していることを確認するために、社内監査を実施する権利を有します。MSCは代理店に対し、本規範に含まれる原則とポリシーに追加の原則とポリシーを採用および実施することによって本規範を補完することを推奨します。しかし、いかなる場合においても、追加された原則やポリシーが本規範と矛盾したり、本規範より寛大であってはなりません。追加の原則とポリシーはすべて、MSCジュネーブのコーポレトリールコンプライアンスチームに送り、審査と承認を受けるものとします。現地法ならびに規制の結果として相違がある場合、本規範、追加の原則およびポリシー、または現地要件のうち、最も高い倫理的基準を定めたものを適用しなければなりません。

各従業員は、以下について責任と説明責任を負います。

- 本規範に記載された基準を理解し、これを満たすこと。
- 常に最新の情報を把握しておくこと。
- 本規範が言及する基準に対する認識と理解を高めることを目的として、関連するトレーニングコースを受けること。

さらに、他の従業員を監督する責任を負う従業員には以下の責任が加わりません。

- 本規範の文言および精神を厳密に遵守する模範的な行動をとる。
- 監督下にあるすべての従業員が本規範を認識し、適用方法のトレーニングを受けていることを確認する。
- 本規範に定められた原則を従業員が遵守しているかを監督および監視する。
- 本規範に違反するいかなる行為も止め、その行為をMSCジュネーブのコーポレトリールコンプライアンスチームに報告するために規範実施者に報告する。スイスのジュネーブで働く従業員は、直接MSCジュネーブのコーポレトリールコンプライアンスチームに報告してください。

## 規範の解釈

本規範の目的は、あらゆる状況を網羅したり、起こりうるすべての状況を予測することではありません。MSCのビジネスを倫理的な方法で遂行するための原則とポリシーを定めることです。本規範で具体的に規定されていない状況に直面した場合、従業員は業界で認められた最高の倫理的基準を維持してそれに対処しなければなりません。本規範に網羅されていない状況は、コンプライアンス実施者を通してMSCジュネーブのコーポレトリールコンプライアンスチームに報告されなければなりません。スイスのジュネーブで働く従業員は、直接MSCジュネーブのコーポレトリールコンプライアンスチームに問い合わせてください。

自らの行動が規範に反しているかどうか確信をもてない従業員は、自分に對して次のような簡単な問いかけをしてください。

- この行動は合法的であり、行動規範に従っているか？
- この行為が公になった場合、MSCや自分に害はないか？
- この行動は新聞の一面に掲載して欲しいものか？
- 自分に対して、誰かに同じ様に振る舞って欲しいか？

これらの質問のいずれかに対する答えが「いいえ」である場合、その行為は行動規範に従ったものではないとみなし、とるべきではありません。答えがわからない場合は、規範実施者に問い合わせてください。規範実施者が問題を解決できない場合、規範実施者はMSCジュネーブのコーポレトリールコンプライアンスチームに相談しなければなりません。スイスのジュネーブで働く従業員は、直接MSCジュネーブのコーポレトリールコンプライアンスチームに問い合わせてください。本規範に関して問い合わせるMSCジュネーブのコーポレトリールコンプライアンスチームの連絡先は、MSCのイントラネットで確認してください。質問がある場合には、[ethic@msc.com](mailto:ethic@msc.com)に問い合わせてください。

## 不正行為の報告

不正行為には、汚職、違法行為、贈収賄、窃盗、またはMSCの財産の不正使用、詐欺、威圧、犯罪、職務の意図的な怠慢、または本規範やMSCのポリシーおよび手続きの違反を含みますが、これらに限定されるものではありません。

MSCの中核的な価値観に沿って、声を上げることができる環境は、オープンで説明責任のある職場文化を構築する上での基礎です。従業員は、MSCのイントラネットからアクセスできるオンラインツール「MSCスピークアップライン」を使い、不正行為を報告することができます。

すべての不正行為を、迅速に報告してください。従業員は、MSCスピークアップラインツールを使用することを強く推奨しますが、規範実施者や、該当する場合には、MSCジュネーブのコーポレートリーガルコンプライアンスチームに報告することもできます。不正行為を報告することが規範実施者の利益相反となる場合は、MSCジュネーブのコーポレートリーガルコンプライアンスチームに直接報告するか、MSCスピークアップラインを使用してください。スイスのジュネーブで働く従業員は、直接MSCジュネーブのコーポレートリーガルコンプライアンスチームに問い合わせてください。

不正行為を報告する場合、従業員は適用法に従って身分を明かすか、匿名で報告するかを選択できます。誠実に報告した従業員には、どのような報復もありません。

MSCは、違反行為の申し立てを非常に重要に受け止め、それぞれの申し立てを公平に調査します。規範を遵守しない場合には、解雇またはその他の契約解除を含む懲戒処分、および民事罰、刑事罰の対象となる可能性があります。





## 行動規範

MSCは、200の貿易ルートのネットワーク、340以上のコンテナ港に寄港するグローバルコンテナサービスを提供する企業です。国際的な存在感を常に高め続けているMSCにおいては、すべての従業員がすべての適用法、規制、規則、公式のガイドライン、ベストプラクティスの規範、各国政府とのパートナーシップ、ISO規格を遵守しなければなりません。

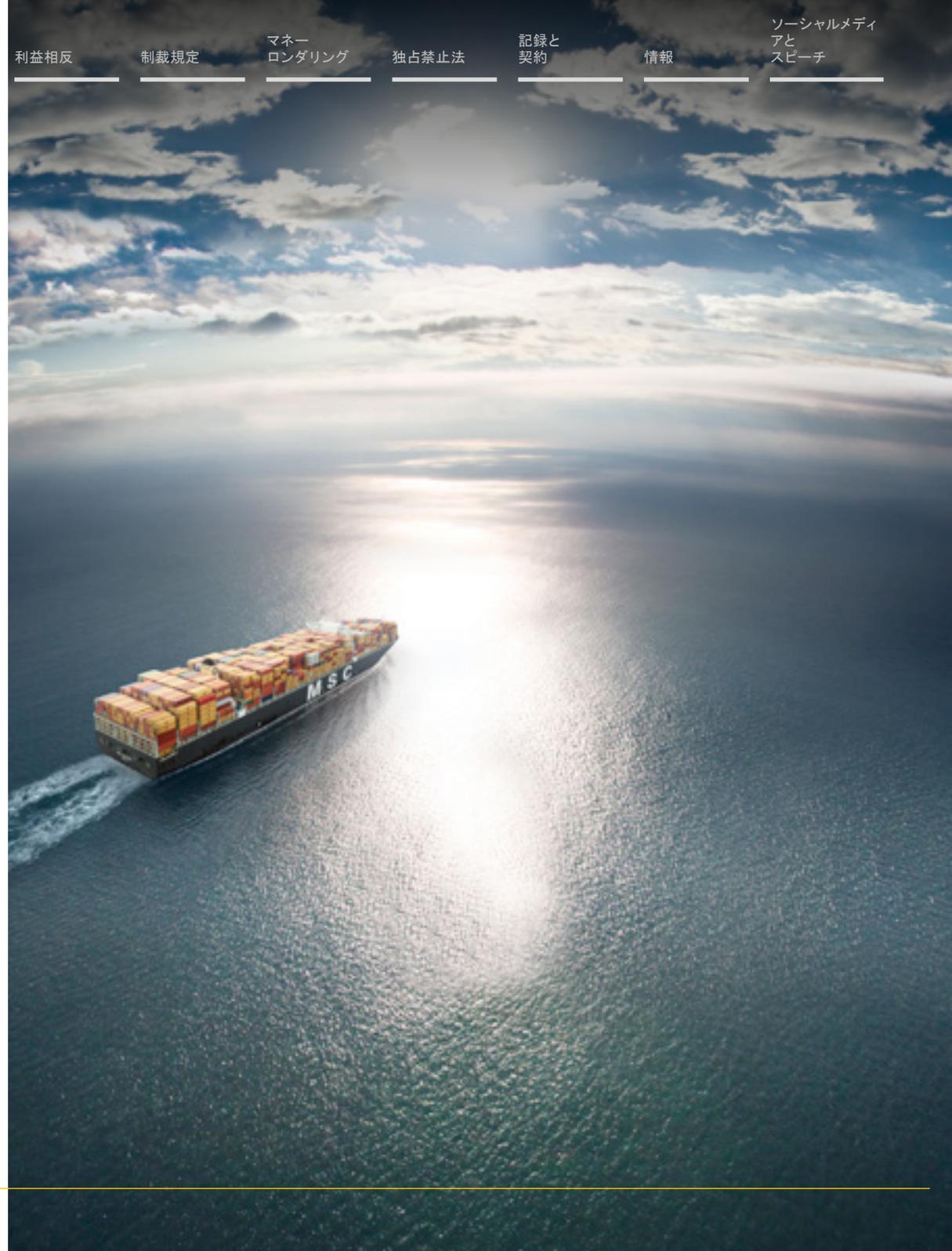
さらに、本規範は従業員の所在地にかかわらず、承認された行動の共通基準を定めています。これらの基準は、MSCが事業を行う多くの国の法律や規制の遵守を補完するものであり、それを超えるものである場合があります。

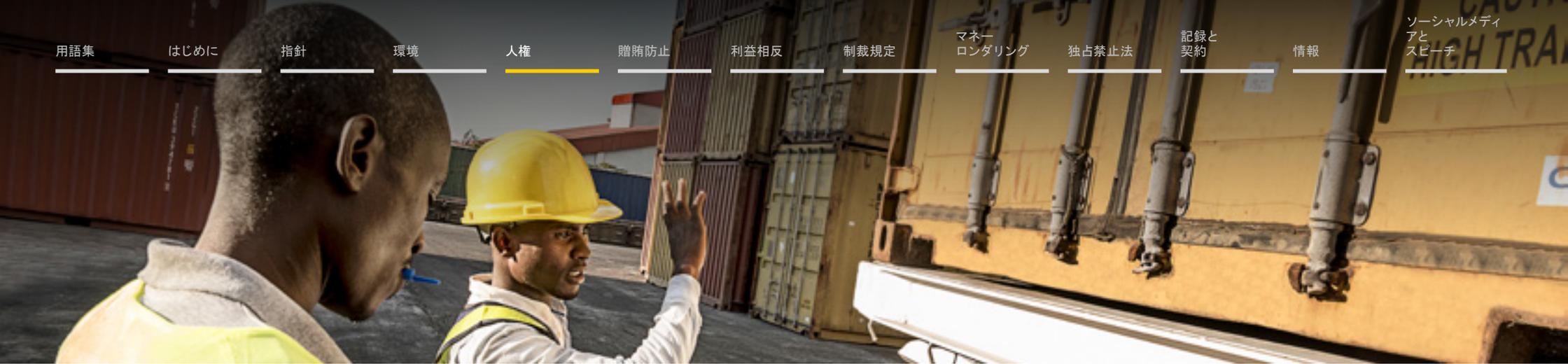
## 環境

MSCは、環境的に持続可能な海運業のリーダーを目指しています。この目的のために、MSCは次の努力をしています。

- 温室効果ガス排出量の最小化に継続的に取り組むことで、気候変動への影響を軽減します。船舶のエネルギー使用と燃料消費量を測定するために使用しているMSCエコツールボックスはその一例です。
- 生物多様性と海洋生物を守ります。例えば、MSCのサービスに使用する新造船の船体は、環境的に健全なコーティングで塗装されます。
- 当社サービスの環境フットプリントを削減する革新的な技術に投資しています。例えば、燃料効率を改善する新造船の設計の最適化や、既存の船のアップグレードに、そのような技術を適用します。
- デジタル化やプロセスエンジニアリングなど、管理および運用システムの実装により、効率を最大化し、人的エラーを回避します。危険な貨物運送の計画や積み込みを自動化する IPX(Intelligent Planning Exchange System)がその一例です。
- MSCと代理店でリサイクルプロジェクトを推進しています。例えば、紙、ペットボトル、IT機器、インクトナーのリサイクル です。

すべての従業員には、イノベーションや変化を受け入れる姿勢が必要です。マネージャーは、資源の消費を削減する方法について、従業員のアイデアを聞くよう奨励されています。





## 人権 と 労働基準

MSCは、国際社会が期待する社会的責任や、より広範で持続可能な発展目標に貢献する、優れたコーポレートガバナンスの継続的な改善を支援し、努力します。そのため、MSCは事業を行う各国の適用法、規則、規制を最低限遵守します。また、世界的に最も規制の厳しい国際海運業界の一員として、責任ある公正なビジネス慣行を推進するMSCの取り組みは、国際的に認められた人権および労働の原則と基準に従っています。

この点において、MSCの中核的な価値観、国連グローバルコンパクトの原則に基づいたアプローチ、国連ビジネスと人権に関する指導原則（UNGPs）に従って、MSCは国際人権規約に含まれる関連する原則、国際労働機関（ILO）の施策や協定の関連する条項および勧告を支持します。国際海運企業であるMSCは、2006年ILO海上労働条約（MLC, 2006）など国連で国際的に採択された海事条約および労働条約が定める幅広い国際基準と要件も遵守します。

### 差別禁止

MSCは、その中核的な価値観に沿って、すべての雇用と雇用慣行は実績と職務に関連する能力に基づくことを保証し、平等な雇用機会を実現するための努力を惜しみません。

MSCは、各人の個性を尊重し、性別、人種、肌の色、宗教、言語、民族的出自、年齢、障がい、政治または思想、労働組合への加入、婚姻状態や家庭環境、性的指向、または性的アイデンティティなどのいかなる理由による差別も許容しません。国際コミュニティが期待する通り、弱い立場の労働者には特に注意を払っています。

MSCと代理店は、雇用のあらゆる面で従業員の権利を最低限尊重し、各国の適用法、現地の要件および/または関連する現地で広く受け入れられている業界標準を厳格に遵守します。その対象には、雇用、昇進、報酬、給与、残業、労働時間、休暇、福利厚生、トレーニングの受講、仕事の割り当て、社会的福利厚生、是正および懲戒処分、解雇または退職が含まれます。



## 相互の尊敬と平等な待遇

MSCは、お客様、ビジネスパートナー、当社と関わるすべてのステークホルダーを含むすべての人が、敬意をもって、公正に、そして尊厳を持って扱われるに値すると考えています。

すべての従業員がこれに責任をもたなくてはなりません。

## 多様性

従業員の多様性はMSCの最大の資産として、ビジネスの継続的な成功に貢献しています。

MSCは、従業員が文化的な多様性や地域の伝統を受け入れ尊重するとともに、個性や能力、強み、およびスキルを尊重して支え合うことを期待します。

## ハラスメントと その他の虐待的行為

MSCは、言葉や心理的な威圧、体罰、セクシャルハラスメントなど、いかなる形の嫌がらせや虐待的行為も容認しません。ハラスメントや虐待的行為には、他者への暴力行為や脅し（ジェスチャー、いじめ、「冗談」や脅迫、言葉、身体的接触など）、MSCや代理店の財産または他者の財産に意図的に損害を与えること、MSCまたは代理店の職場で他者が危険を感じる行動が含まれます。

## 結社の自由

MSCは、すべての従業員の結社の自由を認めています。すべての従業員には、脅迫または報復を恐れることなく、適用法ならびに規制に従い労働組合を結成する、加入する、または加入しない権利があります。

## 強制労働と現代の奴隷制

MSCIは、すべての従業員が基本的な人としての尊厳を尊重するよう努めています。

この目的のため、MSCIは、個人的および/または商業的利益を目的とする他者による経済的および社会的搾取、1930年のILO C029-強制労働条約（No. 29）に定められている強制労働、義務的/非自発的労働、囚人労働、奴隷や人身売買を含む、いかなる形態の奴隷労働や隷属を禁じています。

## 児童労働と 若い労働者の保護

MSCIは、児童労働の使用を厳しく禁止し、ILOにより1973年に採択された「就業が認められるための最低年齢に関する条約」（第138号）、1999年に採択された「最悪の形態の児童労働の禁止及び撤廃のための即時の行動に関する条約」（第182号）、国連子どもの権利条約（UNCRC）など、子どもの権利に関わる国際的な基準を遵守します。

基準に相違や矛盾が生じた場合は、MSCIは最も高い基準を適用します。MSCIは、若者の可能性を引き出すために、世界各地でトレーニングプログラムを支援し、投資しています。多国籍企業と社会政策に関する原則のILO三者宣言（MNE 宣言第5版、2017年）に沿って、MSCIはかかる機会を提供するにあたり、各国の適用法、規制、要件を遵守し、児童が義務教育を受け修了する権利を尊重し保証します。

国際海運会社であるMSCIは、船員のために、2006年に採択されたILO海上労働条約（MLC, 2006）を含むILO条約の関連条項を遵守しています。

## コミュニティと ステークホルダーとのかかわり

MSCIは、共通の価値観、ロイヤリティ、相互信頼に基づいて、顧客、ビジネスパートナー、地域コミュニティ、そして幅広いステークホルダーとのあらゆるレベルでの関係を構築し、維持することによってその名声を築いてきました。

MSCIは、長期的に包括的でポジティブな社会的、経済的影響に貢献するという観点から、先住民やその他の社会的に弱い、不利な立場に置かれた人々の基本的権利を尊重する責任あるビジネスを行うことに強くコミットしています。

## 人権の支援

MSCIは、適切であるとみなされる場合、国際基準および/または国の開発計画に沿って、従業員に対して以下の方法で人権の実現を推進する社会的責任のある活動に貢献することを奨励しています。

- 国または地域ごとの取り組みや社会貢献活動
- 公共政策への関わりとアドボカシー
- パートナーシップと共同行動

MSCIの平和構築の努力と人道的活動への貢献は、中核となるビジネス活動を通じたものを含め、関連する国際規則に従い、遵守しています。

## 職業上の健康と安全

MSCIは、従業員に安全で健康的な環境を提供することを目指しています。この目標を達成するために、MSCIは次のことを行っています。

- 2006年の海上労働条約を含む、適用されるすべての健康と安全に関する法律を遵守します。
- 国際安全管理コードに従って安全のための手続きを実施します。
- 危険な貨物を輸送するための厳しい手続きがあります。MSCIは、特定の危険物について独立した検査官に貨物の検査を要請します。これは、国際海上危険物規則に定められた手続き以上のものです。
- サプライチェーンのセキュリティを強化するために政府との連携を確立します。例えば、MSCIはC-TPAT基準を遵守しています。

一般的に、海上では船主がすべての船員の健康と安全に一義的な責任を負います。しかし、日々毎日の責任は一般的に船長が負います。従業員もまた、職務上の健康と安全の施策を遵守しなければならないという責任を負っています。陸上でも、海上と同様に、健康と安全に対する責任は共有されます。MSCIと代理店が確立した健康と安全対策は、すべての従業員がこれに従わなければなりません。

しかし、各従業員が自らの健康と安全に十分な責任を負うことは重要です。したがって、従業員は、自身の安全と健康に対する差し迫った重大な危険がある場合、危険な状況または作業から身を守る権利があります。

MSCIは、業務における健康と安全を継続的に改善していくために、社内手続きが必要な場合にはいつでも、事故および事故になりかけたケースの調査を実施します。



## 贈賄防止

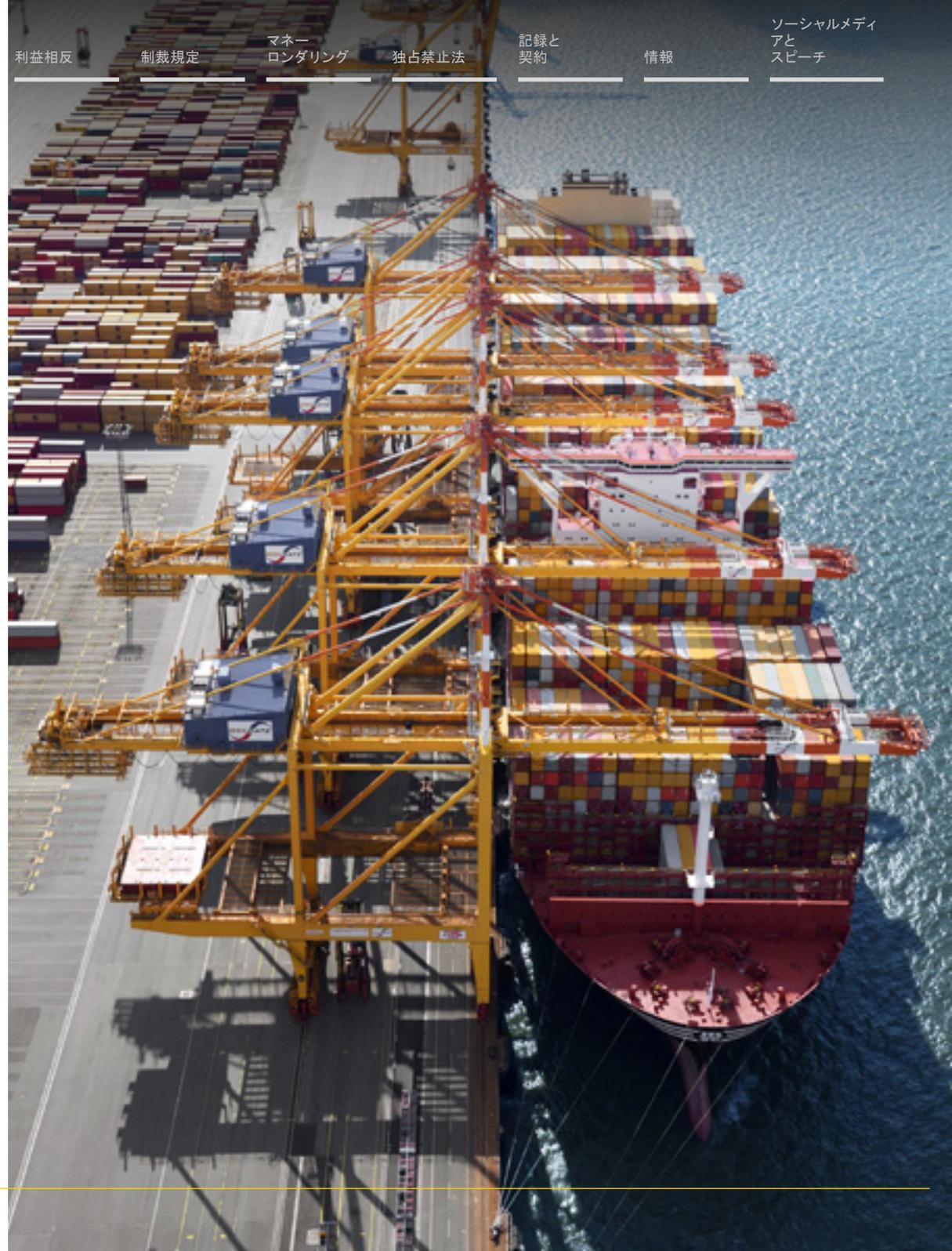
MSCIは、世界のあらゆる場所でビジネスを展開する一方で、公正にビジネスを行い、スイス刑法、該当する場合には米国海外腐敗行為防止法、2010年英国贈収賄法を含む、すべて贈収賄防止法を遵守します。

MSCIは、一切の汚職、贈収賄、円滑化のための支払いを禁止しています。大部分の法律では、このような行為は個人の懲役刑や個人および企業に対する多額の罰金につながる可能性があります。MSCIは、このような行為に関与した従業員に対して懲戒処分を行う権利を有します。従業員は、このような行為に関与してはなりません。従業員は、代理店、コンサルタント、またはサプライヤーがMSCIの贈収賄防止ポリシーに違反しようとしていると考える理由がある場合、その代理店、コンサルタント、サプライヤーに関与してはなりません。

従業員が円滑化するための支払いを求められた場合、支払いを積極的に拒否し、直ちに規範実施者または、該当する場合、MSCジュネーブのコーポレートリーガルコンプライアンスチームに報告しなければなりません。相手から先に支払いを求められたとしても、その行為が合法になることはありません。MSCIは、従業員の健康と安全が危機にさらされている場合を除き、円滑化のための支払いに関して一切許容しません（ゼロトレランスポリシー）。

公務員への贈答品は許可されますが、手ごろな価格の贈答品や企業接待から汚職の一線を超えるのは非常に簡単なことです。MSCIにポリシーで認められている手ごろな価格の贈答品には、MSCIのプロモーションギフトが含まれます。MSCIは、贈答品を装ったものを含め、公務員に対する賄賂の支払いを認めません。

従業員が受け取ったり、提供した贈答品や企業接待は適切に報告し記録されなければなりません。MSCIの贈答品と企業接待の手続きで設定された基準を超える金額の贈答品や企業接待の受領や、提供には、MSCジュネーブのコーポレートリーガルコンプライアンスチームの承認が必要です。



## 利益相反

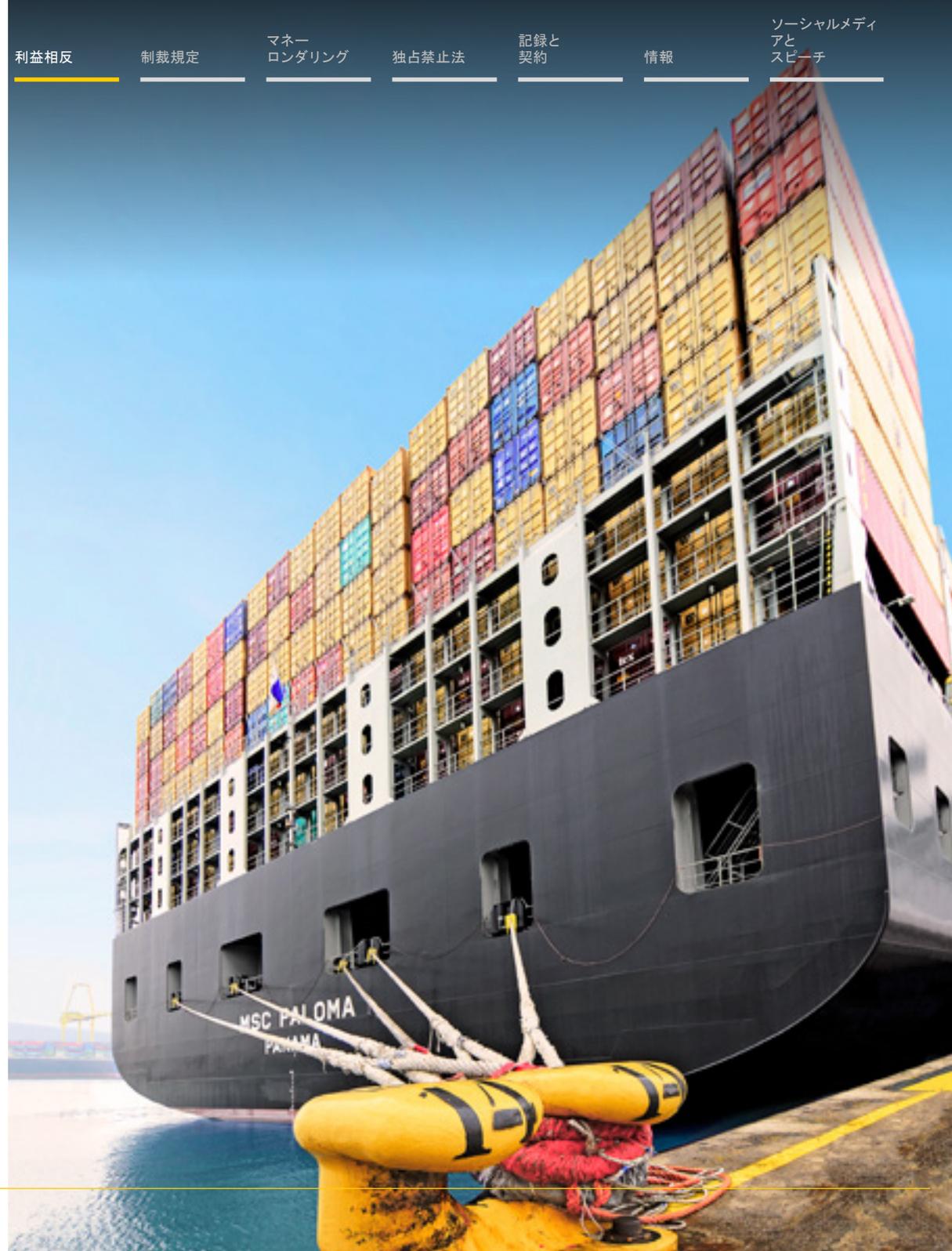
利益相反は、例えば、従業員が第三者（乙仲業者、ブローカー、非船舶運航業者などを含みますが、これに限定されません）とのビジネス取引に関与した時に、従業員または家族が金銭上または個人的利益（例えば、所有者、株主、取締役、役員、従業員、代理人など）がある場合に生じる可能性があります。

従業員は、職務遂行上の判断に矛盾または変更をもたらすような活動にも関与してはなりません。

MSCの利益相反ポリシーは、実際の利益相反と潜在的な利益相反状況を特定、報告、管理する方法についてのガイドラインを提供します。すべての従業員は、MSCの利益相反ポリシーを注意深く読み、厳格に遵守することを求められます。ポリシーには、すべての従業員の報告義務が含まれています。

すべての従業員は、MSCの利益相反ポリシーに定められた指示に従って利益相反調査に記入し、提出することで、利益相反の可能性、または実際の利益相反の事実を開示することが求められます。報告すべき利益相反がない従業員も、利益相反調査を記入して提出しなければなりません。さらに、従業員には、開示した内容が常に正確で真実であるために、情報を更新する責任があります。

そのような利益相反が生じた場合、またはそのように見える場合にはいつでも、その従業員は、その中立性が疑問視される可能性のあるビジネスに関わる前に、書面による明確な承認を得る必要があります。利益相反が、MSCのビジネスの重要な価値に関連する場合には、関連する管理職、また疑わしさが残る場合には、MSC経営陣により明確にされなければなりません。



## 制裁規定

制裁とは、国家安全保障/政治目的の達成のために、特定の個人、企業、貨物、国または船舶が関与する特定の国際取引を禁止するものです。

スイスと欧州連合の制裁を遵守することは、MSCのビジネスモデルの中核です。したがって、すべての従業員と代理店は、取引や輸送する物が何であっても、制裁を遵守しなければなりません。

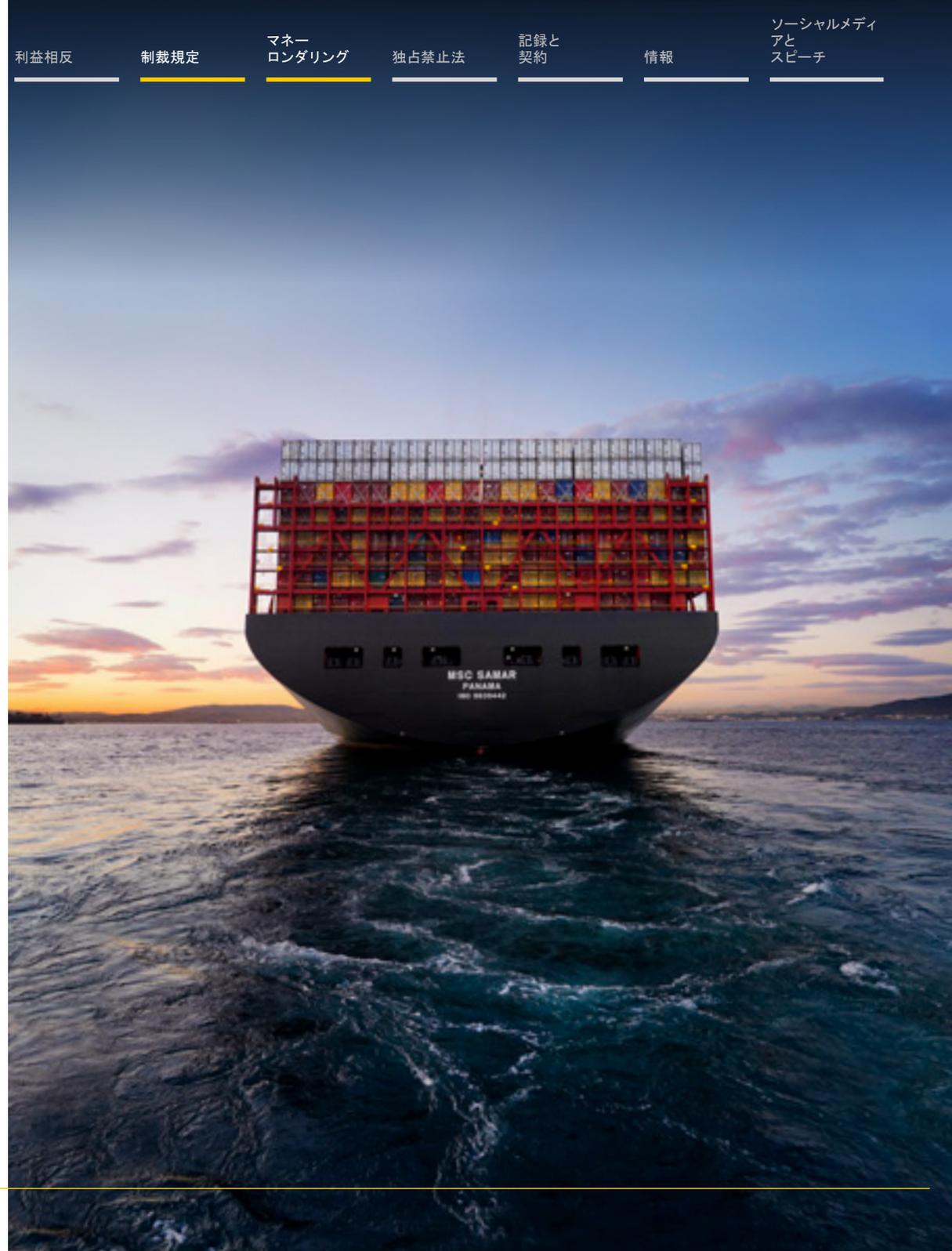
MSCは、貨物（ルーティングを含む）と輸送の契約当事者だけでなく、船舶（所有権とルーティングを含む）と MSCのサプライヤーにも焦点を当てた、すべての該当する制裁法を遵守するために必要な一連の手続きを含む制裁遵守プログラムを策定し、実施しています。従業員のトレーニングと、MSC制裁コンプライアンスプログラムの実施のために、専用のトレーニングプログラムとITツールを開発しました。

## マネーロンダリング

マネーロンダリングは、犯罪によるものと知り、または想定すべき資産の出所の特定、追跡、または没収を妨げることを目的とする行為を行うことです。

代理店と従業員が、マネーロンダリング取引に関与したり、これに手を貸すことは固く禁じられています。

代理店と従業員は、正当なビジネス活動のみを行い、犯罪の収益であると疑う理由のある現金やその他の資産を受け取ったり、扱ってはなりません。



## 独占禁止法

MSCには、場所を問わず、常に適用される競争法（「独占禁止法」としても知られる）を遵守するという厳しいポリシーがあります。すべての従業員と代理店は、MSCの競争コンプライアンスマニュアルに従わなければなりません。

独占禁止法違反は、多くの国で刑事制裁を含む法律により厳しく罰せられます。

政府の調査や監査など、公的機関から情報提供の要請を受けた代理店および従業員は、MSCジュネーブのコーポレートリーガルコンペティションチームに直ちに報告しなければなりません。

競争当局による「ドーンレイド（予告のない立ち入り調査）」または予告なしの検査が行われた場合、MSCジュネーブのコーポレートリーガルコンペティションチームに直ちに連絡を取ってください（本トピックに関する詳細なガイドランスは、MSCイントラネットの「独占禁止法に関連するドーンレイドガイドランス」を参照してください）。

違法行為の主要な分野は、競争を制限することを目的とする他企業との合意（「談合」）です。談合には、次のような事項に関する競合他社との共謀が含まれます。

- 「価格協定」と言われるレート、割引、追加料金、支払い条件など、価格に関連する合意。
- いずれの当事者がその能力を展開する方法に影響を与える合意。これには「能力の制限」として知られる、合理化合意、利用制限、船舶の遊休状態を維持する合意などが含まれます。
- 競合するサービスを行わない合意、競合するサービスから撤退する合意「市場協定」として知られる、競合の顧客にアプローチしない合意。

価格、コスト、新製品、事業計画、数量、市場シェアのデータなど、商業的に機密性の高い情報を競合他社と交換することは違法であり、厳しく禁止されています。ウェブサイトやプレスリリースを通じて将来の値上げを公表すること（「シグナリング」）も反競争的とみなされる場合があることに注意してください。

独占禁止法違反は、支配的地位の濫用から生じる場合もあります。支配的地位は合法であり、競合他社や顧客に依存せずに行動できるほどの市場における強い立場にある企業に生じます。支配的地位の濫用は違法であり、顧客を搾取したり、競合他社を排除するためにこの立場を利用することにより生じます。大部分の市場において、このような問題が生じることがないほどの競争に

MSCは直面していますが、MSCが高いシェアを誇る市場では注意が必要です。例えば、欧州連合法では、取引上の市場シェアが40%未満であれば、その企業が支配的とみなされる可能性はほとんどありません。

注意：コンソーシアムや会議に関しては自主的協議協定などの特別な規則が適用される場合がありますが、独占禁止法を完全に遵守する必要があります。本件に関する詳細は、MSCジュネーブのコーポレートリーガルコンペティションチームにお問い合わせください。



## ビジネス ならびに財務記録

MSCのビジネスと財務記録の正確性と維持は極めて重要なものであり、確実なものでなければなりません。

これに関して、すべての従業員は次のことを行う必要があります。

- 適切な会計期間および適切な勘定科目と部門で、常に取引を記録し分類します。
- 取引の本質を歪めてはなりません。
- 文書を改ざんしてはなりません。
- 他者の脱税、マネーロンダリング、その他の法律に違反する行為に手を貸さない。
- 常に、適切な文書により見積もりと見越しをサポートする。
- 記録を最低10年間（現地法で義務付けられている場合はそれ以上の期間）保存する。
- 要求された文書を維持し、調査や証拠保全の対象となる可能性のある情報や文書を処分、変更、削除、廃棄しないこと。

## 契約

各従業員は、契約を締結、修正、変更する前に適切なすべての承認を得なければなりません。

このセクションの目的のため、「契約」には、運送契約、ターミナル契約、船舶共用合意、接続キャリア合意、代理店契約、給油契約などが含まれますが、これに限定されません。契約についての質問やアドバイスを必要とする従業員は、MSCジュネーブコーポレートリーガル契約チームに連絡する必要があります。



# 機密情報、データ保護とプライバシー、電子機器

## 機密情報

従業員は、すべての機密情報およびMSCまたは代理店の顧客、サプライヤー、およびその他の第三者から受け取った機密情報を保護しなければなりません。

これができない場合、ビジネス上の機密、データ保護、およびプライバシーを保護する契約または法律に基づく義務違反が生じる可能性があります。

機密情報はいかなる場合も、法律が要求する場合を除き、MSCおよび代理店以外の者（家族や友人を含む）に開示してはなりません。

機密情報は、「知る必要性」がある場合を除き、MSCまたは代理店内の他者と共有してはなりません。すべての従業員には、雇用またはビジネス終了後も機密情報を守る義務があります。

## データ保護とプライバシー

MSCは、適用されるデータ保護法と規制の要件に従って個人データを取り扱うとともに、従業員、顧客、およびビジネスパートナーのプライバシーを尊重し保護します。特に、個人データが処理される者のデータ保護権の有効性を確保します。

個人データは、公平かつ合法に、特定の正当な目的のために取り扱います。MSCは、取り扱い、保存する個人情報を保護するために、適切な技術的および組織的なセキュリティ対策を採用し、不正な開示を防止する予防措置を講じます。

MSC はデータ保護の問題について、従業員の意識を定期的にも高めます。

従業員は、個人データと機密性に関する自らの義務を認識し、MSCのデータ保護コンプライアンスプログラム、MSCジュネーブのコーポレートリーガルコンプライアンスチームおよびMSCのデータ保護担当者の指示を遵守する必要があります。これには、個人データの収集、使用および管理に関することを含みますが、これに限定されません。データ保護規則違反に気がついた代理店または従業員は、MSCジュネーブのコーポレートリーガルコンプライアンスチームに直ちに報告してください。

## 電子機器

MSCおよび代理店は、職務上の目的で従業員に電子機器を与えることがあります。従業員は、与えられた機器を意図された目的にのみ使用し、個人的な目的での使用は控える必要があります。電子機器は、MSCと代理店のポリシー、MSCジュネーブのコーポレートリーガルコンプライアンスチームの指示に従って使用しなければなりません。

MSCまたは代理店は、法律の範囲内で電子機器の使用を随時監視する権利を有します。これには電子機器に保存されたデータ、情報、機密情報および個人データを含みます。

## ソーシャルメディア とスピーチ

### ソーシャルメディアのビジネス利用

MSCは、すべての従業員がMSCのサービスに関心を持ち、ビジネスチャンスを生み出す手段として、責任とプロ意識を持ってMSCソーシャルメディアに参加することを奨励します。MSCは、従業員がソーシャルメディアの公式MSCページを利用することを奨励します。すべての従業員は、ソーシャルメディアのMSC公式ページに投稿された記事を共有したりコメントすることができます。

従業員がその職務から、ソーシャルメディア環境でMSCを代表して話す必要がある場合は、MSCジュネーブのグローバル マーケティング部門（連絡先は [social@msc.com](mailto:social@msc.com) です）にその内容について承認を得る必要があります。頻度が高い場合には、業務でソーシャルメディアを利用するためのトレーニングまたはアドバイスを受けることを求められる場合があります。従業員は、書面による事前の承認なしに自ら回答してはなりません。

MSCソーシャルメディアを利用する場合、人種差別、民族的中傷、性差別的コメント、差別扱いをするようなコメント、冒涇、暴力的な言葉またはわいせつな言葉、または悪意に満ちた虚偽の発言など、MSCまたはMSCのビジネスパートナーが不快と感じるような投稿に対して、たとえばFacebookの投稿であれば「いいね!」をするなど、その投稿に対する意見を投稿したり表明してはなりません。

ソーシャルメディアの使用に関する責任について質問がある場合には、MSCのイントラネットに掲載されているソーシャルメディアポリシーを参照するか、[social@msc.com](mailto:social@msc.com)まで問い合わせてください。

### スピーチと メディアとのかかわり

MSCは、従業員が公開の講演に参加したり、ジャーナリストと話すことを希望することがあり、そのような活動が外部との関係構築や、MSCとそのサービスの促進に役立つことを認識しています。会議で講演したり、メディア向けのインタビューを受けることは、一部の従業員が身につけることを奨励されるスキルの一つでもあります。

MSCの従業員であると認識される公的イベントでのスピーチやメディアへのコメントは、MSCを代表するものと解釈されます。したがって、MSCは、適切な情報のみが公開され、そのような表明がMSCのポリシーに沿って行われ、MSCブランドに利益をもたらす、MSCのグローバルビジネス全体で調整された方法で行われるようにする必要があります。

そのために、従業員は、どのような講演またはメディアとのかかわりにおいても、事前にMSCジュネーブのグローバルPR&インターナルコミュニケーション部門に連絡する必要があります。申し出はレビューの後、検証、照会、または拒否されます。一部のケースでは、許可される前に事実確認またはトレーニングと準備が必要になります。

他の大きな組織と同様に、MSCにはプレス対応部署があり、ジャーナリストの興味やニーズを理解する経験を積んでいる者を通してメディアと交流しています。予期せずジャーナリストと接触したり、積極的にメディアと接触することを検討する従業員は、MSCジュネーブのグローバルPR&インターナルコミュニケーション部門に問い合わせるか、[media@msc.com](mailto:media@msc.com) までメールで連絡してください。

従業員は、MSCのイントラネットでスピーチやメディアとのかかわりに関するすべてのポリシーを読むことができます。



**MOVING THE WORLD, TOGETHER.**

**[msc.com](https://www.msc.com)**